

建築計画
特別講義

近代の 生きた継承

LIVING ARCHIVE OF MODERNITY

日時：2026年6月12日（金）
17時30分～19時00分
場所：横浜国立大学大学院
Y-GSA パワープラントホール
たなか やすひろ
講師：田中 康裕 氏
（合同会社 Ibasho Japan 代表）
連携：2026年度 AT スタジオ
進行・問い合わせ先：藤岡泰寛
(fujioka-yasuhiro-fg@ynu.ac.jp)

20世紀、世界各地で計画住宅地（planned communities）が開発されました。その代表として、ニュータウンをあげることができます。例えば、イギリスでは、1946年に制定されたニュータウン法にもとづき、32のニュータウンが開発会社によって開発されました。近年、欧米の計画住宅地では、公文書館が開発にまつわる資料・地図・写真などを収集したり、コミュニティ・ミュージアムが暮らしにまつわるものや思い出を収集・展示したりするなど、郊外住宅地の歴史を継承しようとする興味深い取り組みが行われています。

今回の特別講義では、日本で最初の大規模ニュータウンである千里ニュータウンにおいて、「ディスカバー千里」（千里ニュータウン研究・情報センター）という、街の歴史に関わる活動に携わり、また、世界の郊外住宅地の動向に詳しい田中康裕氏をお招きします。そして、アメリカの計画住宅地であるグリーンベルト、イギリスのニュータウンであるミルトン・キーンズ、シンガポールの住宅開発庁（HDB）が開発するニュータウンなどの事例にふれながら、計画住宅地における歴史とは何か、それはどのように継承されようとしているのか、さらに、我が国における展開の可能性についてお話しいたします。

科研費
KAKENHI

研究課題 / 領域番号 25K08077（物語的解釈の工夫による経年経過住宅地のヘリテージ継承に関する研究）
2025-27 基盤研究 (C) 研究代表者：藤岡泰寛

どなたでもご参加いただけます（申込不要）